

京都府立須知高等学校 学習到達目標 CAN-DO リスト

各学年でめざす 学力推移	普通科3年文理進学コース									
	食品科学科・普通科3年地域探究コース							普通科1年文理進学コース		
	普通科2年文理進学コース									
	食品科学科・普通科2年地域探究コース									
食品科学科・普通科1年地域探究コース										
習熟段階	1	2	3	4	5	6	7	8		
Listening	自分自身や家族に関する簡単な質問を聞き取ることができる。授業で何度も使う表現や語句を聞き分けることができる。	JTEによってゆっくりと繰り返し話されれば指示や説明は理解できる。英検3級程度のグラフや絵の描写に関する情報は複数回聞けば聞き取ることができる。よく使われる表現であれば、単語がつながって発音されても意味を理解することができる。	ゆっくり話されたり、パラフレーズされれば指示や説明はほぼ理解できる。簡単なアナウンスなどは複数回聞けば必要な情報を聞き取ることができる。英検3級程度のグラフや絵の描写に関する情報は1回聞けば聞き取ることができる。ただし長時間、援助なく聞き続けるには限界がある。	簡単な指示や説明であればある程度のスピードがあっても理解し始める。簡単なアナウンスなどはほぼ1回で必要な情報を聞き取ることができる。身近な話題や、学習したテーマに関する話題については、複数回聞けば理解することができるようになり始める。	身近な話題や学習したテーマに関する話題であれば1回で70%程度聞き取ることができる。ごく日常的な場面で交わされる会話において、相手から必要な情報を得る事ができる。簡単な道案内を聞いて理解することや、簡単な内容であれば、電話での応答が可能である。英検準2級程度の音声教材	身近な話題や学習したテーマに関する話題であれば1回でほぼ正確に理解することができる。ごく日常的な場面で交わされる会話において、相手から必要な情報を得ることは勿論のこと、相手の意図や意見もある程度理解することができる。英検準2級～2級程度の音声教材	日常生活での情報や説明を聞き取ることが問題なくできる。やや複雑な社会的な話題については、準備資料があれば、類推したり情報を総合しながら理解することができる。日本語字幕がある程度ついていてテレビの英語ニュース等を80%程度以上ディクテーションすることができる。英検2級程度の音声教材	あまり親しみのないテーマに関する話題でも、1回でほぼ正確に理解することができる。社会的な話題について自分の意見を持ちながら批判的に聞き、質問をすることができる。英語圏の学校で講義を聞き、必要な情報を得ることができる段階である。		
Reading	多くの支援があれば、300語レベル程度の語いを用いた身近な話題について書かれたテキストから特定の情報を取り出す事ができる。ただし、理解の程度は知っている単語をつなぎ合わせ、推測に頼った曖昧なものである。語や文の構成にはあまり意識が向いていない。	多くの支援があれば、500語レベル程度の語いを用いた身近な話題について書かれたテキストから特定の情報を取り出す事ができる。ただし、理解の程度は知っている単語をつなぎ合わせ、推測に頼った曖昧なものである。語や文の構成にはあまり意識が向いていない。	多少の支援があれば、750語レベル程度の語いを用いた身近な話題について書かれたテキストから特定の情報を取り出す事ができる。ただし、理解の程度は知っている単語をつなぎ合わせ、推測に頼った曖昧なものである。時間をかければ、要点をメモ程度の短文で書いて表現することができる。語や文の構成にはあまり意識が向いていない。	多少の支援があれば、750～1000語レベル程度の語いを用いた身近な話題について書かれたテキストから特定の情報を取り出す事ができる。また、少し時間をかければ、要点をメモ程度で書いている表現を用いながら書いてまとめることができるが、口頭による内容説明や表現を変えながらの要約には限界がある。	多少の支援があれば、1500語レベル程度の語いを用いた身近な話題についてのテキストは、時間をかけた身近な話題について書かれたテキストから特定の情報を取り出す事ができる。また、少し時間をかければ、要点をメモ程度で書いている表現を用いながら書いてまとめることができるが、口頭による内容説明や表現を変えながらの要約には限界がある。英検準2級以上、2級以下の語い	多少の支援があれば、1500～2000語レベル程度の語いを用いた身近な話題についてのテキストは、日本語の語順に置き換えながら理解する度合いが少し減り、比較的即時に概要を把握することができる。理解したことや、それを記述したり、口頭で既習のものであれば記述や口頭で要約できるが、抽象的な語彙を含む英文は明確な概念化が行えず、英語による補足説明が必要である。英検2級程度の語い	多少の支援があれば、3000語レベル程度の語いを用いた社会的な高い分野に関して書かれたテキストについて、必要な情報を見つけるためにざっと目を通して情報を収集することができる。パッセージを2回程度読み返せばその構成を理解でき、それに基づいて内容を理解できる。日本語の注釈がついた英字新聞に興味・関心のある話題に関する記事はほぼ正確に理解することができる。	支援がなくても、4000語レベル程度の語いを用いた社会的な高い分野に関して書かれたテキストについて、パッセージ構成をすくに見抜き、抽象度が高い英文も主題文と支持文との関連から判断して、その趣旨が理解できる。英字新聞で社会的な出来事に関する記事について明確に主張されている結論部分は正確に把握できる。詳細についてはやや不安定な理解にとどまる場合もある。		
Speaking [Interaction]	ごく簡単な挨拶を交わす、謝罪をする、礼を言うなど、自分の気持ちを伝える事ができる。また話を聞くことと耳を傾け、援助をしようとしてくれる相手であれば、簡単な質問をしたり、相手の質問に答えたりすることができる。Really?などの簡単な語句を用いて相手の発言に反応することも可能である。	身近で予測可能な、または目的が明確な情報交換ができる。ALTと日常的な話題について1～2分程度対話できる。授業で学習した内容について、ペアやグループで話すことができる。	身近で予測可能な、または目的が明確な情報交換ができる。ALTと日常的な話題について3分間程度(ALTの援助や配慮があれば)会話を継続することができる。授業で学んだ内容について自分の経験や意見を交えながらペアやグループで話すことができる。	易しい話題であれば、ALTの発言に対して簡単な形式を用いて2～3分間程度のやり取りをすることができる。言葉を探すための休止は時々見られるが、互いの配慮があれば会話を継続することができる。ただし会話の内容を第三者に英語で紹介する力は不十分である。	易しい話題であれば相手の発言に対して簡単な形式を用いて自分の意見を述べながら2～3分間程度やり取りをすることができる。言葉を探すための休止は時々見られるが、互いの配慮があれば会話を継続することができる。ただし会話の内容を第三者に英語で紹介する力は不十分である。	身近な社会問題であれば、簡単な形式を用いて3分間程度やり取りをすることができる。準備すれば比較的詳細な内容についての意見交換も5分程度行うことができる。言葉を探すための休止は時々見られるが、会話の崩壊を起さずやり取りを継続することができる。会話の内容を第三者に英語で紹介することも、時間をかければある程度可能である。	比較的自然的に会話を始め、終わらせることができる。学習した内容やその関連分野について自分の考えを根拠に基づいて明確に述べる事ができる。また相手の意見を正確に把握し、会話が円滑に進むように配慮しながら会話を続けようとする姿勢がうかがえる。相手の発言に対して比較的安定して応答することができる。	ごく自然的に会話を始め、終わらせることができる。社会問題や国際問題など様々な分野の話題について自分の考えを根拠に基づいて明確に述べる事ができる。また相手の意見を正確に把握し、会話がより進展するように工夫をしながら会話を続けることができ、応答も素早く、適切である。不自然な休止は起こらず、意思疎通に支障はない。		
Speaking [Production]	事前に準備を行えば、自分の趣味や興味のあることなどについて1～2分程度述べる事ができる。ただし、形式は主語と動詞が含まれたものばかりではなく、短い語句や単語を並べる方法をとることもある。	事前に準備を行えば、自分の趣味や興味のあることなどについて2～3分程度述べたり、身近な人物を簡潔に紹介することができる。また、自分の伝えたいことを、学習した文法事項を用いて5文程度で表現することができる。教科書の英文を音読する際、意味のまとまりを意識することができる。	事前に準備を行えば、身近な話題や学習した内容について、感想や意見を交えながら2～3分間程度話することができる。過去の出来事や個人的な経験について相手に伝わるように述べる事ができる。イントネーションやアクセントに気をつけながら教科書の英文を音読することができる。	身近な話題や学習した内容について、感想や意見を交えながら2～3分間程度話することができる。過去の出来事や個人的な経験について相手に伝わるように述べる事ができる。イントネーションやアクセントに気をつけながら教科書の英文を音読することができる。	身近な話題や日常的话题について伝えたい情報をその場で簡潔に述べることができる。また、学習したテーマから十分に練習したものであれば3分間程度のプレゼンテーションができる。その際、絵や写真、身振りなどを用いながら効果的に表現することができる。イントネーションやアクセントに気をつけながら教科書の英文(100～150語程度)を暗唱することができる。英検準2級面接試験程度	身近な話題や日常的话题について、自分の考えを即興で順序立てて述べる事ができる。興味がある話題や経験談等ではSHOW&TELLを行うことができる。イントネーションやアクセントに気をつけながら教科書の英文(200語程度)を暗唱することができる。イラストや図を見て、十分な情報を論理的に説明することができる。	社会的な問題について自分の意見や考えを即興でも順序立てて自分の考えを述べる事ができる。ストーリー性のある簡単なイラストや図を見て、十分な情報を時系列を追いながら論理的に説明することができる。英検2級面接試験程度	社会性の高い話題について現状分析に自分の考えを加えて伝えることができる。発言内容に矛盾はなく一貫性が見られる。また、聞き手からの質問に対してもすぐに返答することがほぼ可能である。		
Writing	自分の趣味や興味のあることなどについて5文程度の英文を書くことができる。ただし、形式は主語と動詞が含まれたものばかりではなく、短い語句や単語を並べる方法をとることもある。	学習したテーマ及び自分の興味のあることについて、簡単な感想や意見を書く事ができる。多くのlocal errorを含みながらも、既習の語句を用いて簡単な日記程度の短文を書くことができる。	学習したテーマ及び興味のあることについて、150～300語程度のテキストを読み、簡単な感想や意見を理由を述べながら記述することができる。自分と直接関係する内容であれば、情報を羅列しながらエッセイを書くことができる。	興味のある分野について、200～500語程度のテキストを読み、その感想や意見を理由や説明文などを加えて記述することができる。身近な話題や、自分と直接関係する内容であれば、80語程度のエッセイを書くことができる。	400～1000語程度で書かれた本の50語程度の要約を20分程度で書くことができる。また、パラグラフ構成を意識して、学習した英文に関する100語程度のエッセイを20分程度で書くことができる。ただし、メインアイデアとそれ以外の情報が混在し、読み手は理解するのに少し努力を要する。global errorは減少しているが、100語中2～3文程度理解不可能なものが含まれている。	メインアイデアとその他の情報の区別を明確にしてエッセイを書くことができる。パラグラフ構成も安定し、複数のパラグラフ(序論・本論・結論)を用いて150語程度書くことができる。主語と動詞の関係や基本的な接続詞を使いこなす事ができ、＜主張-理由-具体例＞などのパラグラフを意識した記述になっている。	日常生活や、やや複雑な話題について1～2パラグラフ程度の平易な英文を論理的に書くことができる。相手に理解してもらうことができる。global errorはほぼ見られず、各パラグラフの関係性を意識し始めている。	自分の言葉を使いながら、複雑な時事問題や社会問題について、エッセイや感想を400語程度で比較的短時間で論理的に書くことができる。各パラグラフの役割や構成に習熟し、重文や複文も使いながら自分の考えや結論を相手に理解できるように示して書くことができる。		
実用英語技能検定		3級		準2級		2級		準1級		
GTEC for STUDENTS	～299	300～379		380～439		440～519		520～609	610～709	710～
TOEIC (目安)		370		400		530		730		

global error: 文構造の主要素の使用に関するエラー、語順や語彙のエラーのように読者の理解が困難または不可能になる全体的なエラー、接続詞の誤用や脱落などの文章構成におけるエラーなど
local error: 語と動詞の一致に関するエラーや綴りのエラーのように意味の理解に問題を与えない部分的なエラー、文の個別の要素におけるエラーなど